



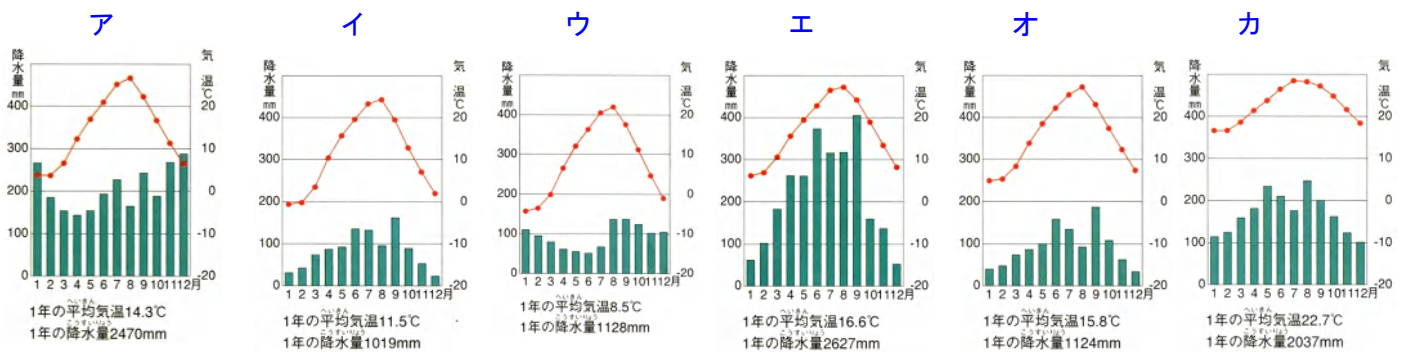
台風は、赤道で発生した(1…?低気圧)が日本に近づいてきたものです。

近年は台風シーズンの前やシーズンを過ぎてからも日本に上陸するものが増えており、これは海水の温度が上がりすぎる(2…?現象)などの異常気象の影響と考えられています。また、地球全体が暖かくなって異常気象が続く(3…?化)のためといわれていますが、本当の原因は分かっていません。

わりあいと温和な気候で、春夏秋冬の移り変わりがはっきりしている気候帯を(4…漢字で)といい、日本のほとんどがこれに位置しています。日本の夏の(5…風向で)の季節風は太平洋側に多くの雨を、冬の(6…風向で)の季節風は、日本海側に多くの雨や雪を降らせません。九州から本州にかけて、6月半ばから7月半ばに雨が多くなる時期を(7…漢字で)といい、この雨は大切な飲料水や田畑に使う(8)用水や工業用水・生活用水として人々の暮らしをささえています。また、この時期に雨があまり降らないことを(9…漢字で)といい、水不足や干害の原因になることがあります。こうした日本の気候は、世界一大きい(10…漢字で)海流や中国大陸と日本列島との間を流れる(11…漢字で)海流の暖流、北海道の東を流れる(12…漢字で)海流などの寒流の影響を受けています。

次のそれぞれの気候グラフを下から選び、記号で答えなさい。

- ①太平洋側の気候…(13) ②日本海側の気候…(14) ③瀬戸内の気候…(15) ④北海道の気候…(16)
 ⑤南西諸島の気候…(17) ⑥中央高地の気候…(18)



水不足によって作物が枯れてしまう害を(19…漢字で)といい、夏に気温が低かったり日照時間が短かったりしたときに作物が受ける害は(20…漢字で)といいます。その原因には東北地方の太平洋側で、初夏に北東からふいてくる風の(21)や、北海道の南東部で発生する(22…漢字で)などがあります。また、雪の多い地域では、家のつくりをじょうぶにし、道路に(23…?パイプ)をつくるなどして雪害にそなえています。

また、森林は災害を防ぐ大切な役目をしてきているため、(24)のダムとよばれています。さらに、台風などが通過するとき、海岸近くの海面が異常に高くなる現象を(25…漢字で)といい、海底地震などの原因で海岸地方をおそろ大きな波を(26…漢字で)とよんでいます。

右は(27…漢字)よけのファンを回している静岡県の茶畑です。

